

第175号

連携室だより



発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室

〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3

TEL 0155-25-3121(病院代表)

帯広第一病院理念・基本方針

【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基本方針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。



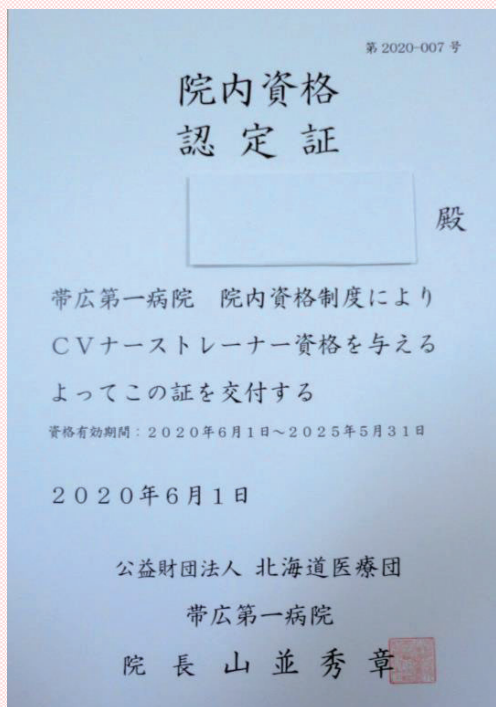
CVナーストレーナー導入について



がん化学療法看護認定看護師 橋本 由紀

がん化学療法看護認定看護師の橋本由紀と申します。私の主な活動は安全な化学療法の提供や、患者様とご家族が安心できる化学療法看護の実践です。この活動の一環として今年度より「院内認定資格制度」を立ち上げ、「CVナース」「CVナーストレーナー」を導入しました。「院内認定資格制度」とは、特定の分野における専門的な知識や技術を習得し、患者様への看護の質の向上を図ることを目的とした院内におけるライセンスです。今回導入した「CVナース」はCVポートの知識と穿刺技術、管理について学びます。研修や試験を受け、合格した者が「CVナース」に認定され、CVポートの穿刺や管理を行うことができます。今回はまず、この「CVナース」を育成するために指導的な役割を担う「CVナーストレーナー」の認定試験を行い、12名の「CVナーストレーナー」が誕生しました。

今後はCVナーストレーナーが中心となり、CVナースの育成を行っていくこととなります。引き続き、認定看護分野における看護職員の知識・技術の向上と、安全で確実な看護の提供につなげることができるよう活動していきたいと思っております。



今号の内容

- ・ CVナーストレーナー導入について がん化学療法看護認定看護師 橋本 由紀 (1)
- ・ 令和元年度地域医療連携室実績報告 地域医療連携課長 林 栄一 (2) (3)
- ・ Pink Ribbon Campaign 2020 開催案内 健康管理センター 保健師 田中 夏海 (4)

令和元年度地域医療連携室実績報告



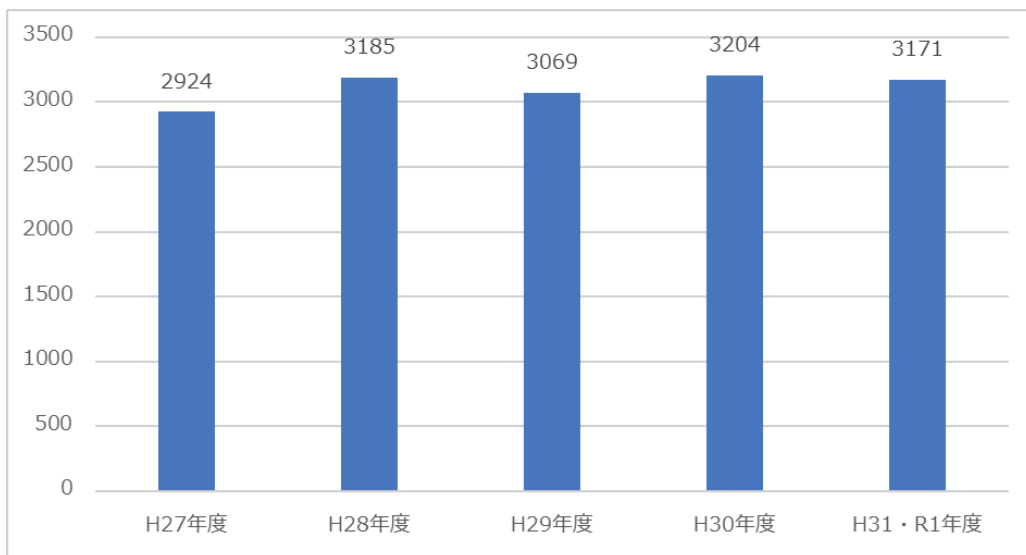
地域医療連携課長 林 栄一

地域の先生方、関係機関の皆様には平素より大変お世話になっております。当院連携室は、入退院支援部門も併せて設置しており、専従の退院支援看護師、専任のMSWが配置され、退院支援を中心に更なる連携強化に努めております。現在は退院支援看護師1名、MSW6名、事務員4名で活動しています。

昨年度より、地域包括ケア病棟でのレスパイト入院を開始しました。医療依存度が高い方、褥瘡処置や麻薬管理など、介護施設でのショートステイでは対応が難しいケースもお受けできる体制がございます。また緩和ケア病棟や障害者施設病棟、更には法人関連施設との連携により、切れ目のない対応を行っております。

例年5月に開催しておりました「帯広第一病院連携の会」は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、現状では開催が難しい状況にあります。当院の診療実績について連携の会場でご報告をしておりましたが、今回は書面のみとなりますが、ここでご報告をさせていただきます。

表1 「紹介件数」



当院への紹介状況についてですが、表1が平成27年度からの紹介件数の推移になります。近年では紹介件数は年間3,000件を超え、一昨年度3,204件、昨年度は3,171件となりました。連携室としては迅速な受診・検査の予約、院内調整が出来るよう今後も努めたいと思います。

表2 「逆紹介件数」

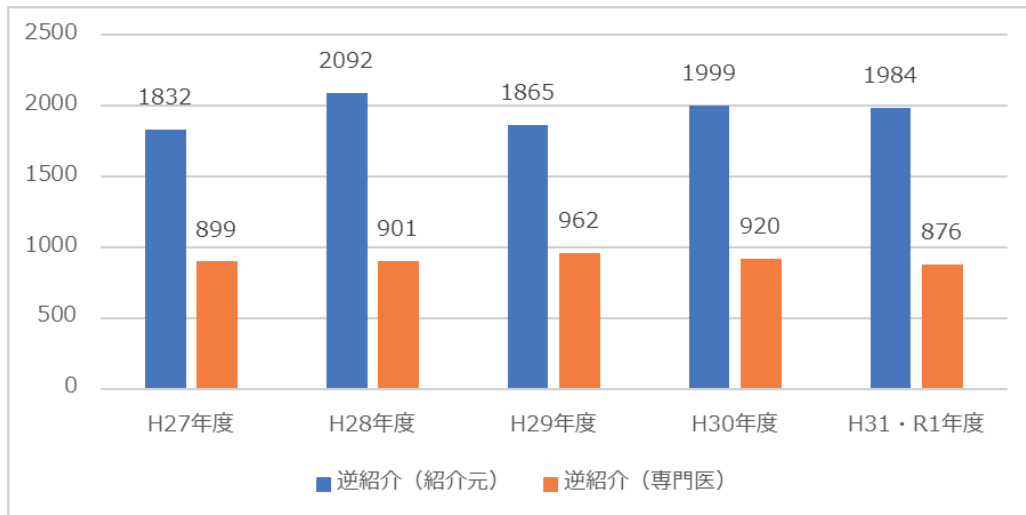


表2は逆紹介の推移についてです。青色のグラフが紹介元の先生へお戻しした件数、橙色のグラフが専門医への紹介となります。当院では患者様の状態が安定すれば、紹介元の先生の所でご加療頂けることを原則として対応しておりますが、病状的あるいは介護等を必要としてそれが難しい場合には、こちらで適切な社会資源、転院先、施設入所等についてご紹介させて頂いております。

表3「連携室利用件数」

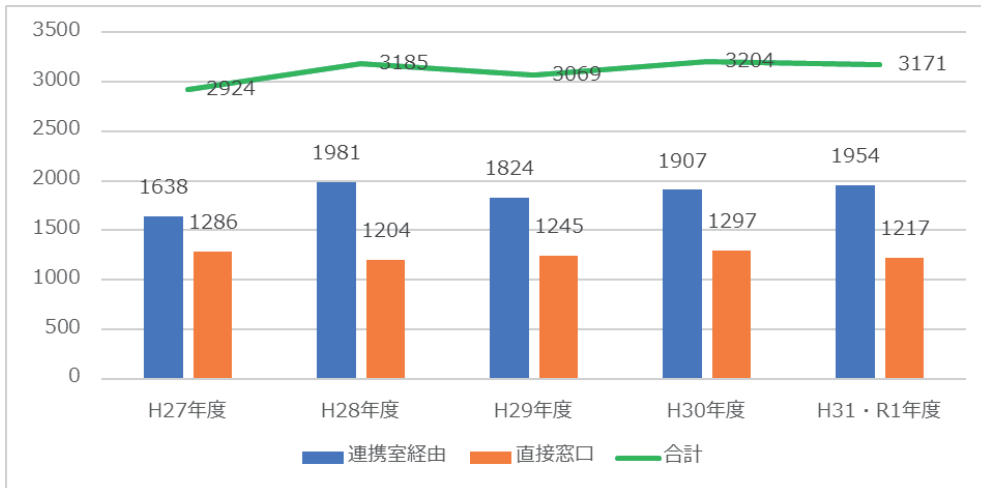


表3は事前にご連絡を頂いた連携室経由の患者様（青色のグラフ）、直接窓口で紹介状を持参し受診された患者様（橙色のグラフ）の推移になります。連携室に事前にご連絡を頂けますと、カルテの事前作成、受診・入院予約、優先的な対応、またDr-to-Drの依頼の電話の取次ぎも対応致します。患者様の待ち時間短縮にも繋がりますので、是非連携室をご利用頂ければと思います。

表4「紹介入院・外来件数」

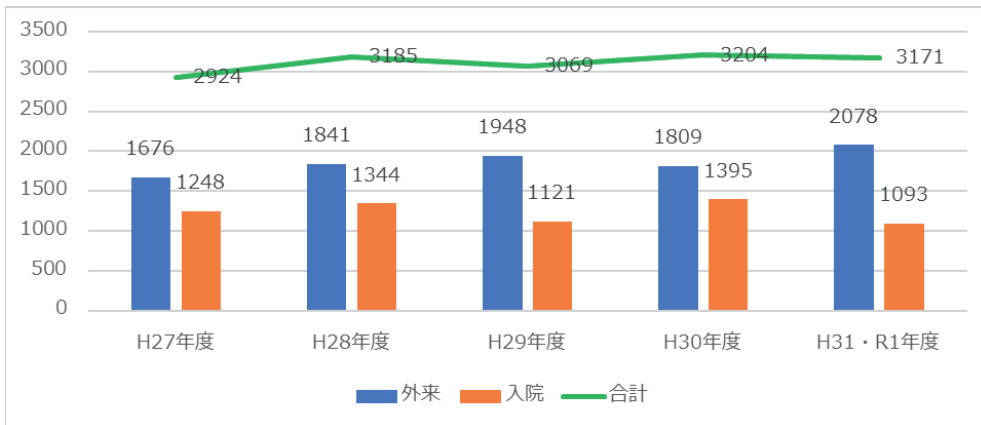


表4は紹介患者様の入院（橙色のグラフ）・外来（青色のグラフ）の割合を示したグラフになります。昨年度は入院に繋がった方は1,093名で、割合は34.4%でした。

今年度は救急専門医が着任し、救急の受け入れ体制も充実しております。また前述の地域包括ケア病棟でのレスパイト入院や、緩和ケア病棟への入院、障害者病棟での透析患者様の入院など、様々な相談をお受けしております。

表5「医療相談件数」

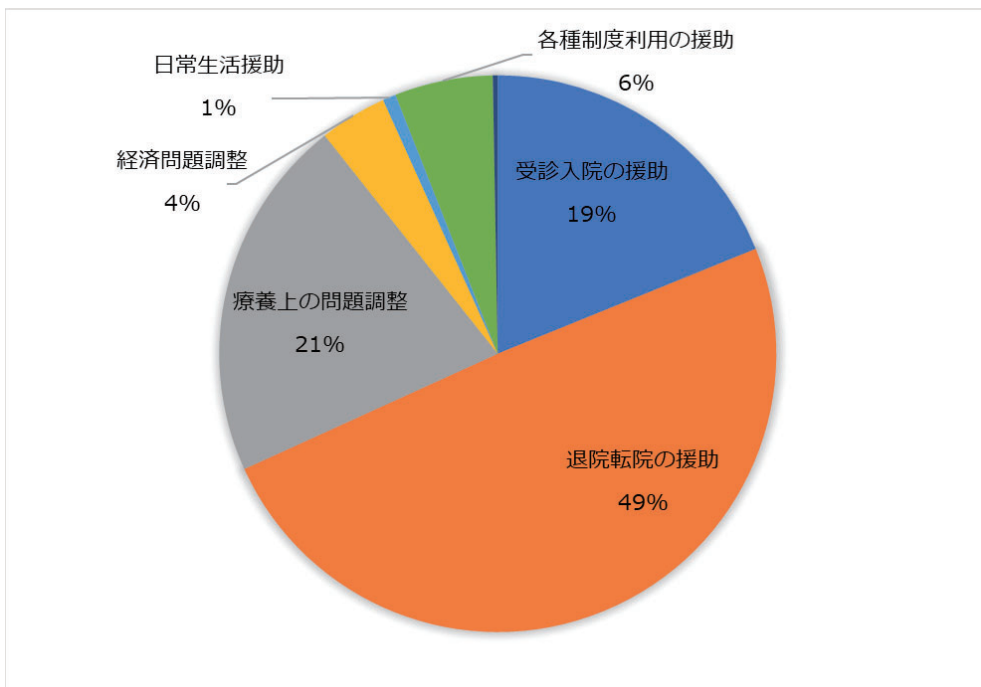
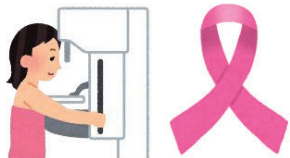


表5は医療相談件数のグラフになります。昨年度は、退院・転院支援に関する相談が49%、療養上の問題調整が21%、受診・入院に関する相談が19%となりました。

連携室では、開設当初より「小回りの利く連携室」となるよう取り組んで参りました。今後も救急から在宅に至るまで、切れ目のない、患者様一人ひとりと向き合った医療が提供できるよう、地域の先生方、関係機関の窓口となるべく、取り組んでいきたいと思っております。今後よろしくお願ひ致します。

Pink Ribbon Campaign 2020 開催案内



健康管理センター 保健師 田中 夏海



地域の皆様には、日頃より大変お世話になっております。当院のピンクリボンキャンペーンは2009年より始まり、今年で12年目を迎えます。一人でも多くの女性を乳がんから守るための活動として、今年も10月のピンクリボン月間にあわせ、開催いたします。

生涯に乳がんを患う日本人女性は、現在、10人に1人（2015年全国がん登録による全国がん罹患データより）と言われ、身近な病気となりました。乳がんで亡くなる女性は年間1万4653人となり（2018年人口動態統計による全国がん死亡データより）、残念ながら増加し続けています。女性の40～69歳では、乳がんが死亡原因のトップとなっています。しかし、乳がんは早い段階から自分で発見することが可能であり、早期発見ができれば、がんの中では治る率が高いがんに入っています。そのため、自己検診の実践と定期的な検診を受けて、早期発見の機会を失わないようにすることが重要となります。

ぜひこの機会に、多くの方に受けて頂くようご案内申し上げます。

キャンペーン内容

ご予約・お問い合わせ先
帯広第一病院 健康推進室
TEL (0155) 25-3121 時間帯：9:30～17:00 土日祝日除く

特別料金での乳がん検診の実施

実施期間 10月1日（木）～10月30日（金）
平日、第2・4土曜日

料金 超音波検査 3,600円（税込）
マンモグラフィ1方向 3,600円（税込）
マンモグラフィ2方向 5,100円（税込）

「ピンクリボン夜間乳がん検診」の実施

開催日 10月9日（金） 10月23日（金）

時間 17:00～19:00

乳がんのリスク低下を目指した食生活改善の情報提供

開催日 10月1日（木）～10月30日（金）

内容 栄養にまつわること、および食事のレシピ集のリーフレットを提供

～当院ホームページ上にて動画配信を行います～

実施期間 10月1日（木）から配信予定

内容 がん専門看護師による乳がんに関するお話
保健師による自己触診法のお話

「ジャパンマンモグラフィーサンデー（日曜検診）」の実施

開催日 10月18日（日）

時間 8:30～12:00



※各種健康保険組合・市町村等の助成のある方は、特別料金の対象外です。
※乳がん検診については、各日人数制限あり、事前予約が必要です。定員になり次第、受付を締め切らせて頂きます。お早めにお問い合わせください。

地域医療連携室より

我が家の庭には収穫を終えたアスパラのふわふわの葉が茂っています。これは20年以上前に祖父が栽培を始めたもので、祖父が亡くなってから10数年時期になるとチンアナゴのように土からひょこひょこ顔を出しています。中には砂利の下から頑張って顔を出すものも・・・。

すごい生命力だなあと感心しながらいただいています。来年は肥料をあげて更にパワーアップさせようと企んでいます。

(宮岸 さとみ)

【地域医療連携室】

TEL 0120-558-091(連携室直通)

FAX 0155-27-0248(連携室専用)

連携室専用e-mail renkei@zhi.or.jp

【担当スタッフ】

林 栄一 (MSW課長) 大熊 三紀子 (事務職)

山形 弘一 (MSW係長) 井本 未来 (事務職)

川元 希 (MSW主任) 後藤 知子 (事務職)

数田 紗奈 (MSW) 昌本 美優 (事務職)

宮岸 さとみ (MSW)

沼田 直江 (MSW)